

普及現地情報

発信年月日：令和元年(2019年)12月2日
所属名：湖北農産普及課
番号：G19025
部門分類：340(病害虫・雑草・鳥獣害)
発信者名：松嶋、西堀、國島

継続が大切！獣害対策フォローアップ講座を開催

これまで当課では、野生獣による農作物被害発生集落のリーダーを対象に「集落ぐるみ獣害対策講座」を平成23年度から実施しています。今回は平成25・26年度の修了者を対象に、各集落における獣害対策を一層推進するため、11月27日に湖北合同庁舎で集落ぐるみ獣害対策フォローアップ講座を開催したところ、修了者18名と関係機関職員11名の出席がありました。

関係機関と連携して開催する「集落ぐるみ獣害対策講座」は、これまで150集落、441名が修了されています。これら修了者が集落における獣害対策を進められ、平成30年度末時点で集落ぐるみ対策実践集落数は160に達しています。

一方、湖北地域全体の被害額は減少してきていますが、集落によっては「獣害の減った実感がない」ところもあります。

そこで、今回の講座では、滋賀県獣害対策アドバイザーの一円憲一氏より「組織で取り組む野生獣被害防止対策について」を講演していただきました。

講演では対策の3原則として、①エサのない環境づくり、②エサがあっても食べられない環境づくり、③獣が近づきにくい環境づくりがあり、特にニホンザルについては、①根気よく追い払うこと、②適正な電気柵の管理を強調して話されました。出席者は野生獣から被害を防ぐことは易しくないと思いながらも、集落ぐるみ対策の継続が重要と再認識していただきました。

今後も野生獣被害集落の支援を継続し、集落ぐるみによる野生獣被害防止対策の実践と営農振興に対する活動を予定しています。



一円講師による説明